

2012年1月

1.新聞・テレビ等

該当なし

2. 誌上発表 (原著論文)

(生薬部)

- Uchiyama, N., Kikura-Hanajiri, R., Matsumoto, N.^{*}, Huang, Z.L.^{*}, Goda, Y., Urade, Y.^{*}
^{*}大阪バイオサイエンス研究所
Effects of synthetic cannabinoids on electroencephalogram power spectra in rats (合成カンナビノイドのラット脳波及び自発運動量に対する作用)
Forensic Sci. Int. **215**, 179-183 (2012)

(食品部)

- 上野英二^{*}, 大野春香^{*}, 渡邊美奈恵^{*}, 大島晴美^{*}, 三上栄一^{*}, 根本 了, 松田りえ子
^{*}愛知県衛生研究所
LC-MSによる畜水産物中のスピノサドの分析
食品衛生学雑誌, **52**(6), 330-335(2011)

(食品添加物部)

- 河崎裕美, 高木繁行, 大西有希子, 浦嶋幸雄^{*1}, 関根百合子^{*2}, 佐藤睦実^{*2}, 田口信夫^{*3}, 西岡千鶴^{*4}, 安永 恵^{*4}, 川原るみ子^{*5}, 酒井國嘉^{*5}, 古謝あゆ子^{*6}, 佐藤恭子, 穂山 浩, 河村葉子
^{*1}札幌市衛生研究所, ^{*2}仙台市衛生研究所, ^{*3}東京都健康安全研究センター, ^{*4}香川県環境保健研究センター, ^{*5}長崎市保健環境試験所, ^{*6}沖縄県衛生環境研究所
マーケットバスケット方式による食品添加物の一日摂取量の推定 (2006-2008 年度)
食品化学学会誌, **18**(3), 150-162 (2011)

(衛生微生物部)

- Watanabe, M., Yonezawa, T.^{*1}, Lee, K.^{*2}, Kumagai, S.^{*2}, Sugita-Konishi, Y., Goto, K.^{*3}, Hara-Kudo, Y.
^{*1}復旦大学生命科学学院, ^{*2}東京大学大学院農学生命科学研究科, ^{*3}三井農林株式会社
Molecular phylogeny of the higher and lower taxonomy of the *Fusarium* genus and differences in the evolutionary histories of multiple genes (Fusarium属菌の分子系統解析から明らかとなった低次および高次分類と遺伝子進化)
BMC Evolutionary Biology. **11**, 322. (2011)
- Jones, J. L.^{*1}, Hara-Kudo, Y., Krantz^{*1}, J. A., Benner^{*1}, R. A., Smith^{*2}, A. B., Dambaugh^{*2}, T. R., Bowers, J. C.^{*1} and DePaola, A.^{*1}
^{*1} 米国食品医薬品安全局 ^{*2} デュポン
Comparison of molecular detection methods for *Vibrio parahaemolyticus* and *Vibrio vulnificus*. (腸炎ビブリオとビブリオ・バルニフィカスの遺伝子検出法の比較)
Food Microbiology. **30**: 105-111, 2012.

(有機化学部)

- Imai, K.^{*1}, Nakanishi, I.^{*2}, Anzai, A.^{*3}, Ozawa, T.^{*4}, Miyata, N.^{*5}, Urano, S.^{*1}, Okuda, H., Nakamura, A.^{*1}, Fukuhara, K.^{*1} 芝浦工大院工,^{*2} 放医研,^{*3} 日本薬大,^{*4} 横浜薬大,^{*5} 名市大院薬

Synthesis and enhanced radical scavenging activity of a conformationally constrained epigallocatechin analogue
(立体構造固定化エピガロカテキン誘導体の合成とラジカル消去活性)

Chem. Lett., **40**, 1417-1419 (2011)

(総合評価室)

- Hirata-Koizumi, M., Fujii, S.^{*}, Furukawa, M.^{*}, Ono, A., Hirose, A.

^{*}(株)化合物安全性研究所

Repeated dose and reproductive/developmental toxicity of perfluorooctadecanoic acid in rats (ペルフルオロオクタデカン酸の反復投与毒性及び生殖/発生毒性)

J. Toxicol. Sci. **37**, 63-79 (2012)

3. 誌上発表 (総説・解説等)

(薬品部)

- 加藤くみ子
DDS 製剤評価の動向と今後の課題
HUMAN SCIENCE 2012 **23** (1) 28-31

(生物薬品部)

- 新見伸吾, 石井明子, 川崎ナナ
バイオ医薬品の不純物の評価(1)
PHARMA TECH JAPAN, **28** (3), 43-48 (2012)
- Yosuke Maeda^{*1}, Kazuhisa Yoshimura^{*2}, Fusako Miyamoto^{*3}, Eiichi Kodama^{*3}, Shigeyoshi Harada^{*2}, Yuzhe Yuan^{*4}, Shinji Harada^{*1} and Keisuke Yusa^{*1} 熊本大学大学院,^{*2} 熊本大学エイズ学センター,^{*3} 東北大学大学院,^{*4} Institute of Blood Transfusion, China
In vitro and In vivo Resistance to Human Immunodeficiency Virus Type 1 Entry Inhibitors (*in vitro, in vivo* における HIV-1 侵入阻害剤耐性)
J. AIDS Clinic. Res. **S2**,004,2011

(生薬部)

- 鄭 美和
更年期婦人病治療薬としての当帰芍薬散
漢方医薬学雑誌, **19** (3), 12 (2011)

(衛生微生物部)

- 工藤由起子
肉の生食と感染症・食中毒
公衆衛生 医学書院. **Vo. 76**. (No. 1). V2012.
- 小西良子
新しい寄生虫性食中毒ーパラシトトキシンの提唱
獣医疫学雑誌, **15**(2), 2012

(有機化学部)

- 福原 潔
天然抗酸化物質をシーズとした生活習慣病予防薬の開発
ファルマシア, **48** (1), 37-42 (2012)

(代謝生化学部)

- 手島玲子
食物と放射能
産婦人科の実際 60(13), 2079-83 (2011)

(安全情報部)

- 青木良子, 天沼喜美子, 太田有子, 森川 馨
WHI ホルモン療法試験—エストロゲン/プロゲステロン併
用療法介入中止後の長期追跡調査から得られた乳癌リ
スクに関するエビデンス
医学のあゆみ, 240(2), 187-194 (2012)
- 窪田邦宏, 天沼 宏, 森川 馨
諸外国 (米国, EU) における食中毒関連病原体の感染
患者数の状況について
食品衛生学雑誌, 52(6), J355-J360 (2011)
- 窪田邦宏, 天沼 宏, 森川 馨
ドイツなどで発生した志賀毒素産生性大腸菌 (STEC)
O104:H4 感染アウトブレイク
食品衛生研究, 62(1), 21-32 (2012)
- 畝山智香子
油脂の摂取と健康影響について
健康食品管理士認定協会会報, 7(1), 18-23 (2012)
- 畝山智香子
食品中発がん物質のリスク評価について
健康食品管理士認定協会会報, 7(1), 24-28 (2012)

(薬理部)

- 小島 肇
技術講座 安全性評価試験 (3) バリデーション
COSME TECH JAPAN, 2, 73-77 (2011)

(総合評価室)

- 高橋美加, 松本真理子, 宮地繁樹*, 菅野誠一郎**, 菅
谷芳雄**, 平田睦子, 小野 敦, 鎌田栄一, 広瀬明彦
* 一般財団法人 化学物質評価研究機構安全性評価技
術研究所, ** 独立行政法人 労働安全衛生総合研究
所, ** 独立行政法人 国立環境研究所環境リスク研究
センター
OECD 化学物質対策の動向 (第 18 報) — 第 29 回 OECD
高生産量化学物質初期評価会議 (2009 年ハーグ)
化学生物総合管理, 7 (2), 86-91 (2011.12)
- 松本真理子, 宮地繁樹*¹, 菅谷芳雄*², 広瀬明彦
*¹ (一財) 化学物質評価研究機構安全性評価技術研究
所 *²(独) 国立環境研究所環境リスク研究センター
OECD 高生産量化学物質点検プログラム: 第 30 回初期
評価会議概要
化学生物総合管理学会誌, 7(2), 92-98(2011)

4. 単行本

該当なし

5. 学会・講演等

(薬品部)

- 坂本知昭

- 医薬品評価科学への近赤外分光法の導入研究**
日本分光学会近赤外分光部会シンポジウム
北とぴあ (2012.1) (東京都北区)
- 坂本知昭
医薬品品質評価科学への遠赤外/テラヘルツ分光法及びイメージング技術の導入と将来への課題
テラヘルツテクノロジーフォーラムビジネスセミナー
2012
秋葉原コンベンションホール (2012.1) (東京都千代田区)
- (生薬部)
- 合田幸広
ニセ薬の話 瘦身や強壮などを標榜する健康食品中の医薬品成分の分析と同定
第1回バイオ・ナノ産学連携セミナー：食品分析ソリューションセミナー2012
東洋大学スカイホール, 2012年1月(東京都文京区)
- (医療機器部)
- 松岡厚子
次世代医療機器評価指標作成事業について
次世代医療機器開発ガイドライン・評価指標セミナー
日本教育会館、2012年1月20日
- 中岡竜介
神経機能修飾装置に関する評価指標について
次世代医療機器開発ガイドライン・評価指標セミナー
日本教育会館、2012年1月20日
- (生活衛生化学部)
- 河上強志
家庭用品検査について
平成23年度特別区保健所衛生検査技師会化学業務研究会 世田谷市民大学講堂 (2012.1) (東京都世田谷区)
- (食品部)
- 松田りえ子
食品安全と放射性物質測定
公衆衛生情報協議会, 和光市、2012.1
- 渡邊敬浩
食品に残留する農薬等試験の信頼性確保(試験法の妥当性評価と内部品質管理の具体例について)
食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会東京都、2012.1
- 根本 了
食品中の残留農薬等公示試験法に関する最近の動向
食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会
東京都、2012.1
- 坂井隆敏
加工食品中の残留農薬等の分析法開発について
食品衛生登録検査機関協会平成23年度残留農薬等研修会
東京都、2012.1
- (食品添加物部)
- 穂山 浩
食物アレルギーについて
第6回健康長寿長野研究会シンポジウム食の未来のた

- めに 正しい食の知識を学ぶ食育推進プロジェクト①
信州大学農学部(長野県) (2012.1)
- (衛生微生物部)
- 杉山圭一, 木下麻緒^{*1}, 葉袋裕二^{*1}, 鎌田洋一, 谷 史人^{*2}, 小西良子
^{*1}玉川大学院農・資源生物, ^{*2}京都大学・地球環境学
堂
ヒト肝臓癌由来細胞株 HepG2 の細胞内レドックスにおよぼすデオキシニバレノールの影響
日本マイコトキシン学会第70回学術講演会 (2012.1月) (東京)
 - 吉成知也
**総アフラトキシン試験法のケーススタディ
多機能カラムによる総アフラトキシンの試験法**
日本マイコトキシン学会第70回学術講演会 (2012.1)
(東京・江戸川区)
 - 大西 貴弘
生食用食品を共通食とした原因不明食中毒 (魚肉における原因究明と対策)
平成23年度短期研修 食品衛生危機管理研修 国立保健医療科学院 (2012.1.17)
 - 大西 貴弘
粘液胞子中による新しい食中毒
埼玉県衛生研究所セミナー, 埼玉県衛生研究所
(2012.1.19)
 - 工藤由起子
食品からの腸管出血性大腸菌の検出法について
地方衛生研究所全国協議会平成23年度「地域保健総合推進事業」関東甲信静ブロック専門家会議 (微生物部門) 静岡, 2011年12月16日
 - 鎌田洋一
馬肉における原因究明と対策
国立保健医療科学院 平成23年度短期研修食品衛生管理研修 和光市, 2012年1月
- (有機化学部)
- 福原 潔, 大野彰子, 荒井卓也, 中西郁夫*, 松本謙一郎*, 奥田晴宏
*放医研
アミロイドβを標的としたアルツハイマー予防薬の開発
第23回ビタミンE研究会(2012.1) (東京)
- (機能生化学部)
- 奥平桂一郎, 出水庸介, 大岡伸通, 柴田識人, 服部隆行, 最上 (西巻) 知子, 栗原正明, 奥田晴宏, 内藤幹彦
Degradation of estrogen receptor induced by a small hybrid molecule SNIPER(ER) (ハイブリッド小分子 SNIPER(ER)によって誘導されるエストロゲン受容体の分解)
The 16th JFCR-ISCC (2012.1、東京)
- (代謝生化学部)
- 近藤一成
遺伝子組換え食品
平成23年度短期研修食品衛生管理研修, 国立保健医療

- 科学院, 1月23日
- 近藤一成
きのこによる食中毒
 平成23年度短期研修食品衛生管理研修, 国立保健医療科学院, 1月23日
- (安全情報部)
- 畝山智香子
「食の安全」を考える
 平成24年うまいくだもの中央講習会, 長野県松本合同庁舎 (2012.1.10)
- 畝山智香子
食品中発がん物質のリスクをどう考えるか
 近畿地域食の安全・安心行政推進連絡会議「地域リスクコミュニケーション部会」, 京都地方合同庁舎 (2012.1.13)
- 登田美桜
毒性情報の入手と利用
 平成23年度 専門課程 I 保健福祉行政管理分野(本科) 国立保健医療科学院 (2012.1.13)
- 畝山智香子
食品中化学物質のリスク分析
 平成23年度短期研修食品衛生危機管理研修, 国立保健医療科学院 (2012.1.27)
- (医薬安全科学部)
- Saito, Y.
Pharmacogenomic analyses on drug-induced severe adverse reactions in Japan (日本における重篤副作用に関するゲノム薬理的解析)
 2012 International Symposium on Pharmacogenomics: “One Step Toward Personalized Medicine” (2012.1) (Seoul)
- (薬理部)
- Li, M.^{*1}, Kurokawa, J.^{*1}, Kanda, Y., Toyama, S.^{*2}, Murata, M.^{*2}, Sekino, Y., Fukuda, K.^{*2}, Furukawa, T.^{*1}
^{*1}Tokyo Medical and Dental University, Medial Researchh Institute, ^{*2}Keio University, School of Medicine
Quantitative characterization of human induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes (ヒト iPS 細胞由来心筋細胞の定量的特性解析)
 The 1st HD Physiology International Symposium: Integrative Multi-level Systems Biology for *In silico* Cardiology and Pharmacokinetics (2012.1) (東京)

6. レギュラトリーサイエンス関連国際会議報告

(薬理部)

- 小島 肇
OECD Expert Group Meeting on Corrosion/Skin irritation Assays ; 腐食性/皮膚刺激性試験における OECD 専門家会議
 ヘルシンキ (フィンランド) 、平成24年1月18日-19日
 腐食性試験ガイドライン No. 430 および 431 の改定および、代替法やその他情報を組み合わせる手法についての意見交換が議題の中心であった。日本からは、テストガイドライン

No. 439「皮膚刺激性試験」への追加記載を求めているLabCyte EPI-MODL24について、プロトコル改定に伴う追加結果を報告し、各国の専門家に合意を促した。